

PROGRESS 尼崎リハビリ Interview

全国で話題の保険外リハビリ 尼崎にある「脳梗塞リハビリステーションPROGRESS」

信頼できるスタッフに出会えたから ここでなら続けられると思えた。

生活習慣病の影響から40代、50代の発症もある中、満足できるリハビリを受けられず退院することも多い。本施設では「自費」という選択をすることで理学療法士・作業療法士と鍼灸師による身体内外からのアプローチで、脳血管疾患・パーキンソン病などの後遺症を改善する新しい形を実現した。ここでは利用者の生の声を聴く。

「今日はご利用者さまご本人とお姉さまにインタビューさせていただけます。宜しくお願い致します。」

「パーキンソン病と診断された当時の様子を教えてくださいますか？」

「ご本人診断が下りたのは、20年前のことです。私が医師として忙しく過ごしていた頃、身体に違和感を感じて受診したのがきっかけでした。」

「お姉様なかなか病名が特定されるまでに時間がかかって、結局パーキンソン病と診断されるまでに3年も掛かってもしかかしい思いはありましたね。」



information

男性/50代

details

目標：綺麗な姿勢で歩く

疾患：パーキンソン病

症状：ふるえ、無動

発病からの経過期間：
10年以上

「本格的なリハビリが必要になったのはいつからなのでしょう？」

（お姉様） 3年前くらいに倒れてしまった。その後すぐに入院することにはなったのですが、左腕を下敷きにしてしばらくそのままの状態でしたので、コンパートメント症候群も合併してしまっただけです。それから左腕を自由に動かすのが難しくなったようです。更に今年に再度倒れて入院する事になりました。

（ご本人） 倒れたというよりは事故といった方が正しいかもしれません。診断当初は薬も良く効いておりましたが徐々に薬の効きも悪くなり、日常生活にも影響が出るようになりました。実は年初に2回目の事故を起こしてしまって、次はいよいよ常時車椅子がないと移動が難しいと言われるような状態になってしまったのですが、どうしても受け止められなくて。何とか床を這いつくばってでも自力



で移動ができないか努力しましたが、結局車椅子を手放せない生活になってしまいました。

当施設でリハビリをしようと思われたきっかけはございますか？

（お姉様） まずは、介助が必要になったので、入居ができる施設を探していました。その時に、知り



合いの医師である亀井先生（亀井グループ院長）がサ高住を運営していることを知って、信頼もありましたし、入居を勧めました。あとは筋力をつける必要があることも分かっていたので、自費のリハビリ施設も運営されていることを聞いていたので、体験だけでも一度受けてみては？と本人に提案しましたね。

(ご本人) 姉に紹介されて、もっと根詰めてリハビリがしてみたい気持ちもありましたし、鍼も受けたことがなかったので、一度は試したいと思いました。
今では、姿勢が綺麗になったことが実感できますし、何より入居してる施設の仲間から「姿勢が綺麗になったよね！」と言われることが増えて嬉しく思っています。



「今までの介護保険のリハビリと比べると違いはいかがですか？」
(ご本人) やっぱり、自分の希望を担当の方がしっかりと聞いて取り入れてくれることですね。病院や介護施設では制限が大きくてなかなか満足のいくリハビリではなかったけれど、今担当してくれているスタッフの方に出会えたことが一番良かったと思っています。おかげで今後も続けていけそうです。

他の利用者様
の変化の様子
は動画で！



<https://noureha-ama.com/>

「当施設をお困りの方に紹介したいと思われませんか？」
(ご本人) 自分自身、どんどん身体が良くなっていていっている実感があつて、通い始めてよかったと思っています。なのでもっとリハビリを受けたいと思う方がいれば、体験だけでも受けてみてはと思います。
「ご協力いただいております。これからも一緒に頑張りましょう！」

